

門川町教育研究所



中学生用

# 学習の手引き



( ) 年 ( ) 組 ( ) 番

氏名 ( )

## ～ 目 次 ～

門川町内の中学生のみなさんへ .....	P. 1
《 学習することで… 》	
《 学力をつけるためには？ 》	
1 生活のリズムを整える	
2 授業を大切にす.....	P. 2
3 家庭学習を充実させる 〔家庭学習を充実させるための4つのポイント〕	
(1) 家で勉強する時間を決めておく	
(2) めあてをもって学習する	
(3) 集中して学習する .....	P. 3
(4) 体全体を使って学習する 【学習計画表】	
4 テスト勉強法を工夫す.....	P. 4
〔効果的なテスト勉強の4つのポイント〕	
(1) 必ずテストに向けた「学習計画」を立てる	
(2) 立てた計画を実行する	
(3) 覚え方を工夫する	
(4) わからないことは、そのままにしておかない 【テスト勉強用学習計画表】 .....	P. 5
5 各教科の学習方法	
* 国語科 .....	P. 6
* 社会科 .....	P. 7
* 数学科 .....	P. 8
* 理科 .....	P. 9
* 英語科 .....	P. 10
○ 宅習ノート例Ⅰ .....	P. 11
○ 宅習ノート例Ⅱ .....	P. 12
あとがき .....	P. 13
〔保護者の皆様へ〕	
〔先生方へ〕	

## 門川町内の中学生のみなさんへ

「あなたは、将来どんな人間になりたいですか?」「あなたの将来の夢は何ですか?」みなさんの将来には、様々な可能性があります。その可能性を最大限に引き出し、自分の夢をかなえるためには、学習に真剣に取り組むことが重要になってきます。学習に取り組むいろいろな経験をする事で、将来、社会生活を送る上で必要なことが身につき、自分の可能性が育ち、夢が実現するのです。

しかし、門川町内の中学生に学習の仕方が分かっているかどうかを尋ねたところ、「分かる」と自信をもって答えた生徒は全体の18% (5人に1人) 程度でした。(平成16年度アンケートより)

そこで、門川町教育研究所では、少しでもみなさんの学習の手助けとなるように、町内の先生方の協力を得て、この「学習の手引き」を作成しました。ぜひ参考にして、『自分の学習に生かし、さらに工夫し、自分にあった学習方法』を見つけてください。

### 《 学習することで… 》

- \* 自分の可能性が育ち、夢の実現につながる。
- \* 考えたり、調べたり、経験したりしたこと、問題に立ち向かう気持ちやできるようになったときの喜びは、これからのがんばる力になる。
- \* 私たちが生きているこの社会をよりよくするために貢献できる人になれる。
- \* 自分を高め、苦勞する経験は将来にわたって、学び続ける力となる。
- \* 将来の趣味や特技に生かして、豊かな心で生活が送れる。etc



### 《 学力をつけるためには? 》

#### 1 生活のリズムを整える

学力というものは、毎日コツコツと努力を積み重ねることで身につくものです。しかし、生活のリズムが乱れると、体調を崩したり集中力が欠けたりして、学習に対する意欲の低下につながります。生活習慣を見直し、生活のリズムを整えることは学力をつけるための基盤です。参考：町内の中学生で「生活のリズムができていない生徒」が約21パーセント (平成16年度アンケートより)

下の当てはまる項目にチェック  をし、現在の自分を診断してみましょう。

「生活リズム」チェック		《診断のめやす》
(I) 余裕をもって登校できる時刻に起きている。	<input type="checkbox"/>	6個以上→生活のリズムができています。
(II) 朝食をしっかりと食べている。	<input type="checkbox"/>	
(III) 帰宅時刻を守っている。	<input type="checkbox"/>	4~5個→生活のリズムがだいぶできていますが、できていないところ改善しましょう。
(IV) テレビやゲームなどは、決めた時間内に終わっている。	<input type="checkbox"/>	
(V) 決まった時刻に学習を始めている。	<input type="checkbox"/>	3個以下→生活のリズムができていません。毎日の生活を振り返ってください。
(VI) 前日に次の日の授業の準備を終えている。	<input type="checkbox"/>	
(VII) 夜ふかしせず、決まった時刻に寝ている。	<input type="checkbox"/>	
チェックの合計【      】個		

## 2 授業を大切にす

学習の基本は、毎日の授業です。授業での1時間は家庭学習の2～3時間分にあたります。

毎日の授業を大切にす生徒は必ず伸びます。

下の当てはまる項目にチェック☑をし、現在の自分を診断してみましよう。

「授業への取組」チェック		《診断のめやす》
(I) 忘れ物はほとんどしたことがない。	<input type="checkbox"/>	9個以上→非常に素晴らしい取組です。
(II) 授業の前の着席がきちんとできている。	<input type="checkbox"/>	
(III) 宿題は家で必ずやってくる。	<input type="checkbox"/>	7～8個→よい取組ができていますが、9個以上を目指ましよう。
(IV) 先生の話をしっかり聞いている。	<input type="checkbox"/>	
(V) 授業中に覚えよう(理解しよう)としている。	<input type="checkbox"/>	
(VI) 黒板に書いてあることを、ノートにきちんとまとめている。	<input type="checkbox"/>	5～6個→ある程度の取組は、できていますが、できていないところを改善ましよう。
(VII) 重要だと思ったことをメモしたり、線を引いたりしている。	<input type="checkbox"/>	
(VIII) 積極的に発表している。	<input type="checkbox"/>	4個以下→きちんとした取組ができていません。毎時間の取組を見直してださい。
(IX) わからないことは質問している。	<input type="checkbox"/>	
(X) 私語などをせず、周りの人に迷惑をかけていない。	<input type="checkbox"/>	
チェックの合計【      】個		

## 3 家庭学習を充実させる

毎日の家庭学習は、たとえ宿題がなくても必要です。それは授業で理解したことを覚えるのに時間のかかる教科や、定着させるために何回も繰り返し練習する(書く)ことが必要な教科もあるからです。毎日必ず家庭学習に取り組みましよう。

### 【家庭学習を充実させるための4つのポイント】



#### (1) 家で勉強する時間を決めておく

毎日、ほぼ決まった時刻に学習を始め、学習時間を決め、それを継続することで学習習慣が身につき、スムーズに家庭学習に取り組めるようになります。部活のある日・休日など、いくつかのパターンの計画を立てておきましよう。

平日の学習時間の目安：1・2年生…2時間以上  
3年生…3時間以上

#### (2) めあてをもって学習する

「今日は英語の問題集を5ページ終わらせよう」とか「漢字を30字覚えよう」などというようにめあてや見通しを立てて学習することや、自分で「何時までに終わらせよう」といった制限時間などを決めて取り組むことで、集中力や、やり遂げたという充実感が高まり、次への学習意欲につながります。

**(3) 集中して学習する**

テレビを見ながら、音楽を聴きながら・・・といった「ながら勉強」は、一見何ともなさそうですが、実際には集中力がとぎれて学習効果が上がらないことが分かっています。また、部屋や机など、普段から学習する場所の整理整頓に心がけておくことも集中して学習に取り組むためには大切なことです。



**(4) 体全体を使って学習する**

教科書などを目で読むだけでなく、音読をしたり、読みながら線を引いたり、ノートにまとめたりするなど、手、口、耳などをフル活用して学習に取り組むと定着率が上がり効果的です。

下の当てはまる項目にチェック  をし、現在の自分を診断してみましょう。

「家庭学習への取組」チェック		《診断のめやす》
(Ⅰ) 決まった時刻に学習を始め、学習時間を確保している。 1・2年：2時間以上    3年：3時間以上	<input type="checkbox"/>	6個以上→しっかりと家庭学習の取組ができています。
(Ⅱ) 学習計画表を作成している。	<input type="checkbox"/>	
(Ⅲ) その日のめあてをもって学習に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	4～5個→ある程度の取組は、できていますが、6個以上を目指しましょう。
(Ⅳ) 最初に宿題を終わらせている。	<input type="checkbox"/>	
(Ⅴ) 「ながら勉強」はしていない。	<input type="checkbox"/>	
(Ⅵ) 学習する場所を整理整頓している。	<input type="checkbox"/>	
(Ⅶ) 教科によっては、音読をしながら線を引いたり、まとめたりしている。	<input type="checkbox"/>	3個以下→きちんとした取組ができていません。家庭学習を見直しましょう。
チェックの合計【      】個		

**【学習計画表】** ※5ページに学習計画の例を載せていますので、参考にしてください。

〔平日〕

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2
---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 1 2

〔休日〕

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2
---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 1 2

〔部活動のない日や塾・習い事等がある日〕

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2
---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 1 2

#### 4 テスト勉強法を工夫する

学習したことがどれだけ身についたかを確認する定期テスト（中間・期末テスト等）や実力テストで満足のいく結果が得られないと悩んでいる人も多いようです。そこで、『効果的なテスト勉強法』を紹介しますので参考にしてください。

##### 【効果的なテスト勉強の4つのポイント】



##### (1) 必ずテストに向けた「学習計画」を立てる

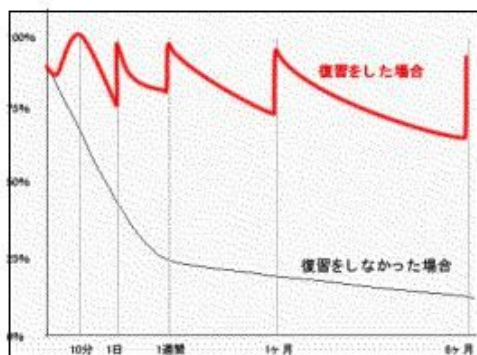
中学校では、定期的にどの教科も一斉にテストが行われるので学習する範囲が広がります。そこで、計画性のない学習では取組が不十分なままの教科が出てくるおそれがあります。きちんとした見通しを立て、効率よく取り組むためには、必ずテスト用の学習計画を早めに立てることが必要です。2週間から、遅くても10日くらい前には計画を立て、テスト勉強に取りかかりたいところです。

##### (2) 立てた計画を実行する

立てた計画が計画だおれにならないように決めた時刻になったら机に向かい、特別なことがない限りは、計画を実行する努力が必要です。しかし、必要に応じて計画を見直し・修正しながら実行していく柔軟性も大切です。「自分なりの目標」をもち、「きちんとした計画」「実行するための努力と強い意志」がよい結果につながります。

##### (3) 覚え方を工夫する

一問一答式の問題を作成したり、家族や友達に問題を出してもらったりしながら自分が理解できていないところを確認したり、自分で大切なことを覚えながらカードにまとめ「暗記カード」を作るなど、いろいろな工夫をすることができます。方法を工夫する中で何度も復習することが一番効果的です。



左のグラフは、下の曲線がドイツの心理学者、ヘルマン・エビングハウスによる記憶実験から得られた曲線です。学習後何もしないと、だいたい10分後には約30%、1日後には半分以上、1週間後には約75%のことを忘れてしまうそうです。さらに、上の曲線は、教育学者P. ラッセルの復習曲線です。学習後、復習を繰り返すことにより、記憶量にあきらかに差が出てきます。テスト前の一夜づけでは、定期テストはもちろんですが実力テストなどには、

とうてい太刀打ちできないことがよくわかります。やはり、完全に忘れないうちに「早めに何度も復習する」ことが大切です。

##### (4) わからないことは、そのままにしておかない

わからないことをそのままにしておくと、関連した内容もわからなくなることがあります。まず自分で考えたり、調べたりし、それでもわからないときは友達や先生などに聞いて必ず解決しておきましょう。

下の当てはまる項目にチェック☑をし、現在の自分を診断してみましょう。

「テストに向けた取組」チェック		《診断のめやす》
(I) テスト用の学習計画を立てている。	<input type="checkbox"/>	6個 →成績アップ間違いなし!
(II) 学習計画の見直しや修正をしながら実行している。	<input type="checkbox"/>	5個 →よいテスト勉強への取組ができています。
(III) 現状に満足せず、自分なりの目標をもってテスト勉強に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	4個 →ある程度の取組は、できていますが、成績向上のために5個以上を目指しましょう。
(IV) 覚え方の工夫をしている。	<input type="checkbox"/>	
(V) 繰り返し復習している。	<input type="checkbox"/>	
(VI) わからないことはそのままにせず、必ず解決している。	<input type="checkbox"/>	3個以下→真剣にテストに対する取組を考えましょう。
チェックの合計【      】個		

**【 テスト勉強用学習計画表 】**

計画の見直しや修正をしながら、自分にあった学習計画表をつくろう。また、その日にどのような内容（教科）の学習をするか、細かな計画も立てておくといいでしょう。

〔計画例〕〈      土曜日      〉用

睡	朝	自	勉	昼	勉	自	手	夕	勉	睡											
眠	食	由	強	食	強	由	伝	食	強	眠											
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2

〔計画①〕〈      〉用

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2
---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---

〔計画②〕〈      〉用

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2
---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---

〔計画③〕〈      〉用

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2
---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---

〔計画④〕〈      〉用

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2
---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---

## 5 各教科の学習方法

### (1) 国語を学習すると…

- 相手の意見や考えを理解する力がつく。
- 自分の考えや気持ち（思い）を伝える力がつく。
- 情報を正しく理解する力がつく。
- 想像力や豊かな感性が身につく。
- 国語（母国語）を大切にする心が育つ。
- ことばの学習や習得は、人間形成につながる。
- 話す・聞く・読む・書く学習は、全ての教科の基礎になる。







<p>授業の受け方</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 前の時間の内容を確認する。</li> <li>② 授業のめあてをしっかりとつかむ。</li> <li>③ 先生の質問について自分なりの考えをもつ。</li> <li>④ 自分の考えをはっきり述べる。</li> <li>⑤ 先生の話や友達の発言をしっかりと聞く。</li> <li>⑥ 話合いに積極的に参加する。</li> <li>⑦ ノートを工夫しながら丁寧にまとめる。</li> <li>⑧ 板書以外のこと（先生や友達の発言など）もメモする。</li> <li>⑨ 身近なところに辞書を置き、いつでも活用できるようにしておく。</li> <li>⑩ 友人の意見、発表、作品を大切に認める。</li> </ol>
<p>家庭での 学習の仕方</p> 	<p>【予習】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 教科書を音読する。</li> <li>② 新出漢字や読めない漢字、意味のわからない語句を辞書を使って調べておく。</li> </ol> <p>【復習】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業で使ったプリントやワークを整理し、授業を振り返る。 （プリントはきちんとファイル等にとじておく）</li> <li>② その日に学習した漢字、語句などを確認し、書いて覚える。</li> <li>③ 宿題は、学習したその日のうちにする。</li> <li>④ 教科書を繰り返し音読する。</li> </ol>
<p>効果的な テスト勉強法</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業で使ったプリントやワーク、ノートなどの問題をもう一度解いてみる。</li> <li>② 漢字を繰り返し書いて覚える。</li> <li>③ 教科書を繰り返し音読する。</li> </ol>
<p>ワンランク アップ するために…</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 辞書を手もとに置き、わからないことを調べる習慣を身につける。</li> <li>② 自分で問題を作成し、テスト形式で復習する。</li> <li>③ 漢字検定に挑戦する。</li> <li>④ 新聞を読む習慣を身につける。（感想が書ければなお良い）</li> <li>⑤ 読書をする習慣を身につける。</li> <li>⑥ 毎日の生活の記録や日記等をその日を振り返り、丁寧にまとめる。</li> <li>⑦ 常に文字を正しく美しく書くように心がける。</li> <li>⑧ 機会あるごとに、作文・詩・短歌などを作ってみる。</li> </ol>



## (2) 社会を学習すると…

- 自分の住んでいる地域から世界まで、位置関係や地名、地域の特色、生活している人々の様子などを知り、社会に出たとき生かすことができる。
- 違った国の文化や人々の生活習慣を知り、互いの文化を尊重し合う気持ちを深めることができる。
- 先人の業績を知り、将来の生活や生き方に生かす力を身につけることができる。
- 歴史的な観点から日本と諸外国との関係を捉えることができるようになる。
- どんな権利や義務があるか、政治や経済の仕組みがどうなっているのかなど実生活に生かせる国民としての基本的な知識を身につけることができる。
- 国際社会の一員として、活躍するための知識を身につけることができる。

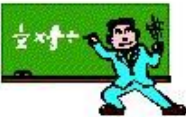





<p>授業の受け方</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 前の時間の内容を確認し、その日のめあてをしっかりとつかむ。</li> <li>② わからないことや疑問に思ったことなどは進んで質問する。</li> <li>③ 間違いを気にせず、自分の考えをはっきり述べる。</li> <li>④ 調査活動などでは、調査方法を工夫して意欲的に取り組む。</li> <li>⑤ 討論やディベート、話し合い活動等に積極的に参加する。</li> <li>⑥ ノートを工夫しながら丁寧にまとめる。</li> <li>⑦ 板書以外のこと（先生や友達の発言など）もメモする。</li> <li>⑧ 特に地理的分野では、できるだけ地図帳をうまく活用する。</li> <li>⑨ 歴史的な事象（出来事）を他の事象との関連を考えながらおさえる。</li> <li>⑩ 公民的分野では、日常生活との関わりを考えながら学習する。</li> </ol>
<p>家庭での学習の仕方</p> 	<p>【予習】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 教科書をよく読み、疑問点やわからない語句を確認する。</li> <li>② 重要な語句をチェックしたり、ノートに書き出したりしておく。</li> </ol> <p>【復習】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業で使ったプリントやワークを整理し、授業を振り返る。（プリントはきちんとファイル等にとじておく）</li> <li>② その日に学習した用語や地名、人名、出来事の名称などを確認し、色分けや図式化など工夫してまとめる。</li> <li>③ 問題集などで基礎的・基本的内容をおさえておく。</li> <li>④ 間違えた部分を宅習帳にまとめる。</li> </ol>
<p>効果的なテスト勉強法</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業で使ったプリントやワーク、ノートなどの問題をもう一度解いてみる。</li> <li>② 一問一答式で友達と問題を出し合う。</li> <li>③ 間違えた部分をまとめた宅習帳の内容を確認するなどして、重要な語句を確実に覚える。</li> </ol>
<p>ワンランクアップするために…</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 自分で用語カードを作り、機会あるごとに見て覚える。</li> <li>② 重要な語句や出来事を覚えるだけでなく、説明できるようにしておく。</li> <li>③ 地名や場所を必ず確認して、位置関係を把握しておく。</li> <li>④ 自分なりの年号の覚え方（ごろあわせ）を工夫する。</li> <li>⑤ 新聞を読んだり、ニュースを見たりして、世の中の出来事に関心をもつ。</li> <li>⑥ 社会科に関係のある番組や本などを、積極的に見たり読んだりする。</li> <li>⑦ 図書館や博物館などの施設を訪ねてみる。</li> <li>⑧ 教科書の本文だけでなく、資料や地図、グラフ、写真なども注意して見ておく。</li> </ol>

### (3) 数学を学習すると…

- 物事を論理的に考え、処理していく力がつく。
- 日常生活に役立つ計算力が身につく。
- 様々な解決方法を考える力が身につく。
- 自分の考えを筋道立てて説明できる力が身につく。
- 立体的に物を見ることができるよう感覚が身につく。
- 情報を処理する能力が身につく。
- 学習した内容を様々な分野で活用することができる。



<p>授業の受け方</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 前の時間の内容を確認する。</li> <li>② 授業のめあてをしっかりとつかむ。</li> <li>③ 自分の考えが正しいかどうかすすんで発表して確認する。</li> <li>④ 授業に集中し、先生の説明や友達の発言をしっかりと聞く。</li> <li>⑤ 板書事項は必ずノートにとり、色や記号などを工夫し、自分の考えや解決の過程が一目でわかるノートにする。</li> <li>⑥ 板書以外のこと（先生や友達の発言など）もメモする。</li> <li>⑦ わからないことは、必ず質問して解決する。 (質問の時間がない場合は授業後に聞きに行くなどして解決しておく)</li> <li>⑧ 答えが「合った」「合わない」よりも、答えがでてくる過程や発想を大切にする。</li> <li>⑨ 教科書の中の例題や図などを生かして、解き方のパターンを覚える。</li> <li>⑩ 余裕があれば、いろいろな解き方にチャレンジしてみる。</li> </ol>
<p>家庭での学習の仕方</p> 	<p><b>【予習】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 教科書の例題や練習問題などを自分でやってみて、わからないところやできないところを確認しておく。</li> </ol> <p><b>【復習】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業で使ったプリントやノート、ワークを整理し、授業を振り返る。</li> <li>② 授業で学習した問題をもう一度解いてみる。</li> <li>③ 間違えたところは、確実に暗記するぐらい復習する。</li> <li>④ 復習で出てきた疑問点を質問し、必ず解決するようにする。</li> <li>⑤ 宿題は、学習したその日のうちにする。(ただやればいいのではなく、学習した内容をしっかりと確認しながらする)</li> </ol>
<p>効果的なテスト勉強法</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 教科書をよく読み、まとめや大切なところを確認する。</li> <li>② テスト範囲の教科書やプリント、ノート、ワークなどの問題を何度も繰り返し練習する。</li> <li>③ わからないことは、先生や友達に聞いて必ず解決しておく。</li> </ol>
<p>ワンランクアップするために…</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 参考書や問題集を購入し、類似した問題を解いてみる。</li> <li>② 早く解けるようになるために、時間を決めてどこまでできるか挑戦する。</li> <li>③ テストで間違えた問題に再度取り組み、確実に自分のものにする。</li> <li>④ 自分で問題を作成し、テスト形式で復習する。</li> <li>⑤ 数学検定に挑戦する。</li> <li>⑥ ゲーム形式で友達と競争しながら問題を解いてみる。</li> <li>⑦ 余裕があれば、入試問題や解くのに時間のかかる問題にも、時間をかけてじっくり取り組んでみる。</li> </ol>

#### (4) 理科を学習すると…

- 生活に役立つ知識が身につく。
- 生活の中から問題を見つけ、予想を立てて調べ、考えていく力が身につく。
- 疑問に感じることを他と協力しながら解決していく力が身につく。
- 事実をしっかりとらえ、物事を正しく判断する力が身につく。
- 実験器具や薬品などの取扱い方が身につく。
- 自然の仕組みや不思議さ、すばらしさを知ることができる。
- 自然と人間の関わり（地球に生きる一生物として、どのように生きていけばよいか）について考え、知ることができる。





<p>授業の受け方</p> 	<ol style="list-style-type: none"><li>① 授業のめあてをしっかりとつかむ。</li><li>② 予想を立てたり、実験結果から何がわかるかを考えるなど、考える時間を大切にする。</li><li>③ 観察や実験では、何を調べるか考えて、班で協力して取り組む。</li><li>④ 先生の話をよく聞き、特に実験では、指示に必ず従い安全面に十分注意して取り組む。</li><li>⑤ 実験や観察では、細かい変化にも注意し、しっかりと記録をとり、最終的に自分の言葉でまとめられるようにしておく。</li><li>⑥ 先生が板書したことは、ノートに工夫しながら丁寧にまとめる。</li><li>⑦ 板書以外のこと（先生や友達の発言など）もメモする。</li><li>⑧ 公式や重要語句は確実に押さえておく。</li><li>⑨ 積極的に発表し、わからないことは質問して理解しておく。</li></ol>
<p>家庭での学習の仕方</p> 	<p><b>【予習】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 教科の特性で必要でないことが多いが、与えられた課題はしっかりと仕上げる。</li></ol> <p><b>【復習】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 授業で使ったプリントやワークを整理し、授業を振り返る。</li><li>② その日に学習した理科学用語を、正しい漢字で書けるようにしておく。</li><li>③ 理解しにくいものは図にかいてまとめ、視覚的にとらえるようにする。</li><li>④ 宿題や練習問題を学習したその日のうちにする。</li><li>⑤ 復習で出てきた疑問点を質問し、必ず解決するようにする。</li></ol>
<p>効果的なテスト勉強法</p> 	<ol style="list-style-type: none"><li>① 理科学用語を繰り返し書いて覚える。</li><li>② 公式や復習で図にかいてまとめた重要事項を確認する。</li><li>③ 授業で使ったプリントやワーク、ノートなどの問題を繰り返し解いてみる。問題を解くと、何を覚えればよいかわかります。</li></ol>
<p>ワンランクアップするために…</p> 	<ol style="list-style-type: none"><li>① 進んで自然とふれあい、身近な自然の様子を知る。 〔どこにどんな植物がある、この川にはこんな生物がいる 等〕</li><li>② 自然現象は、関連し合っていることが多いので、物事のつながりに目を向けて学習する。</li><li>③ 日常生活の中での出来事を科学的な視点で見る。</li><li>④ 疑問に思ったことを、図書館やインターネットを利用して積極的に調べてみる。</li><li>⑤ 理科検定に挑戦する。</li><li>⑥ 実験結果や様々な現象を自分の言葉で説明できるように繰り返し学習する。</li><li>⑦ 図書館や博物館、科学技術館、動物園などの施設を訪ねてみる。</li><li>⑧ 理科に関するテレビ番組やニュース、新聞記事、科学雑誌等を進んで見るようにする。</li></ol>

**(5) 英語を学習すると…**

- 世界の共通語を学ぶことで、国際社会に対応するために必要な力が身につく。
- 英語を通して積極的にコミュニケーションを図る力が身につく。
- 相手の考えを理解し自分の考えを英語で表現する力が身につく。
- 英文を読み、内容を理解できる力が身につく。
- 日本語や風俗習慣等の日本文化を見直すことができる。
- 違った国の違った文化や人々の生活習慣を知り、互いの文化を尊重し合う気持ちを深めることができる。
- テレビや映画など、身近なところで英語が使われていることに気づき、生活する上での視野が広がる。



<p>授業の受け方</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 前の時間の内容を確認する。</li> <li>② その日の授業の学習課題を確認する。</li> <li>③ 単語の発音や教科書の音読は、大きな声でしっかりと言う。</li> <li>④ CDや先生の発音・リズムを集中して聴き、まねながら練習する。</li> <li>⑤ ゲームや英語での会話などの学習活動に積極的に参加する。</li> <li>⑥ 間違いを気にせず、意欲的に発表する。</li> <li>⑦ 基本文や表現をしっかりと覚える。</li> <li>⑧ ノートを工夫しながら丁寧にまとめる。</li> <li>⑨ わからないことは、先生やALTに質問し、必ず解決しておく。</li> <li>⑩ 常に辞書を用意し、いつでも活用できるようにしておく。</li> </ol>
<p>家庭での学習の仕方</p> 	<p><b>【予習】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 教科書を音読し、疑問点やわからない単語を確認する。</li> <li>② 新出単語や教科書の本文の意味を辞書を使って調べておく。</li> </ol> <p><b>【復習】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業で使ったプリントやワーク、ノートを整理し、授業を振り返る。</li> <li>② その日に学習した単語、例文などを繰り返し練習（書く・音読）し覚える。</li> <li>③ 宿題は、学習したその日のうちにする。</li> <li>④ 復習で出てきた疑問点を質問し、必ず解決するようにする。</li> </ol>
<p>効果的なテスト勉強法</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 授業で使ったプリントやワーク、問題集などの問題をもう一度解いてみる。</li> <li>② 単語や例文などを繰り返し練習（書く・音読）し、確実に覚える。</li> <li>③ 教科書の本文を、覚えるまで音読する。</li> </ol>
<p>ワンランクアップするために…</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>① オリジナルの単語カードや熟語カードを作り活用する。</li> <li>② 日常の出来事などを英文にして先生に見てもらう。（生活の記録を英文で書く）</li> <li>③ 英語検定や弁論大会に挑戦する。</li> <li>④ ALTに積極的に話しかける。</li> <li>⑤ 外国の人と文通をする。</li> <li>⑥ テレビやラジオの英会話番組を活用する。</li> <li>⑦ 映画や洋楽など、楽しみながら生の英語にふれるようにする。</li> <li>⑧ 英語放送のニュースやテレビの音声切り替えを利用して英語にふれる機会を増やす。</li> </ol>

# 社会

## 授業をまとめよう!!

- 935年 = 平将門の乱(関東) ● 939年 = 藤原純友の乱(瀬戸内海)
- 1016年 = 藤原の道長が摂政となる ● 1051年(〜62) = 前九年の役(東北)
- 1083年(〜87) = 後三年の役(東北) ● 1156年(保元元年) = 保元の乱(京都)
- 1159年(平治元年) = 平治の乱(京都) ● 1167年 = 平清盛が太政大臣となる
- 1185年 = 壇の浦の戦い・源頼朝が諸国に守護・地頭をおく
- 1192年 = 源頼朝が征夷大将軍となり、鎌倉幕府を開く ● 1203年 = 北条時政が執権となる
- 1219年 = 源氏に不利、北条氏が幕府の実権をにぎる ● 1221年 = 承久の乱
- 1232年 = 北条泰時が御成敗式目をつくる

◆ **保元の乱** 後白河天皇と崇徳上皇の、あつぎをめぐり対立し、藤原氏内部の争いが絡みつき、武士も加わった戦い。天皇があの勝利を収めたが、武士が貴族の争いを解決し、政権をにぎるきっかけとなった。

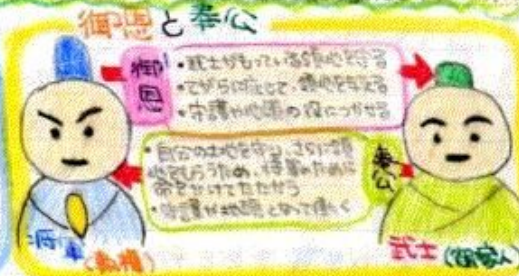
◆ **平治の乱** 保元の乱で手ごたえをたてた源義朝と平清盛の間におきた争い。平氏が源氏を破り、平氏による政治が始まった。

◆ **太政大臣** 行政の最高の責任者。平清盛は、武士を初めてこの位を占められた。

◆ **征夷大将軍** もともと平安時代に蝦夷征伐のために設けられた位。源頼朝からは、幕府の最高の位と武士の総大将を意味するようになった。

◆ **承久の乱** 源頼朝の死後、御家人の互闘がまいついた。この混乱に乗じて、後鳥羽上皇が幕府を倒そうと平家景に、幕府と戦った。

◆ **御家人** 武士の従者を「家人」といったのがもとになり、源頼朝の直轄の家来を「御家人」とよぶようになった。御家人は幕府、よばれず家来従てする御家人のせきには従た



### 御成敗式目(貞永式目) ~ 一かたをせしめたもの ~

- 守護は、軍事・警備の仕事に専念し、ほかの仕事に手をだしてはいけない。
- 地頭は、年貢の受けおたしに、不正をしてはいけない。
- 一丁ものない女性には、養子をとって、領地をゆかりおたしてよい。
- 領地を売り買いしてはいけない。

# 数学

## 方程式

問1. 1枚2gのびんせいx枚を、重さ5gの封筒に入れました。この時の全体の重さは?  $A(2x+5)$

問2. 先の問題で、全体の重さが17gとあるとき、等式をつくりましょう。  $A(2x+5=17)$

問3. 先、2つの等式のxにどんな数字を入ると2つの式は成り立ちますか?  $A(x=6)$

① 問1の時は、xがどんな数字がまだ決ま、ていません。問2は、そのような文字xを使って等式をつくりあげました。このような文字を含む等式を(方程式)といいます。方程式を成り立たせる(方程式にあてはまる)文字の値を(方程式の解)といい、その解を求めることを(方程式を解く)という。

(補足) 逆にいえば、ある数値が方程式の解かどうか確かめるためには、元の式に代入して成り立たずば、解になっているといえることができます。

問題 次の方程式は、 $x=3$ が解となっているかどうか判断しましょう。

① $x-8=5$	② $4x-7=5$	③ $x+2=3x-4$	このように、方程式の解かどうかを判断することはできるが、方程式の解を自分でさがすとすると大変です。そこで、これから方程式の解き方について勉強しましょう。
$3-8$	$4 \times 3-7$	$3+2=3 \times 3-4$	
$-5$	$12-7=5$	$5=9-4$	

A解にならない A解になっている A解になっている

② 考える順番は、まず、**符号を決めて**、xにあてはまる数値を考えるです。(符号は当然、かけ算・割り算の符号のとり方です) 約分も忘れない。

問題 次の方程式を上のように用紙を使って、求めましょう。

① $3x=15$ $x=5$	② $5x=-10$ $x=-2$	③ $-4x=16$ $x=-4$	④ $-8x=-32$ $x=4$	⑤ $3x=2$ $x=\frac{2}{3}$	⑥ $9x=-5$ $x=-\frac{5}{9}$
⑦ $7x=49$ $x=7$	⑧ $3x=-9$ $x=-3$	⑨ $-7x=35$ $x=-5$	⑩ $4x=-32$ $x=-8$	⑪ $-8x=-56$ $x=7$	⑫ $5x=5$ $x=1$
⑬ $-x=8$ $x=-8$	⑭ $-4x=0$ $x=0$	⑮ $-12x=4$ $x=-\frac{4}{12}$ $x=-\frac{1}{3}$	⑯ $-15x=-6$ $x=\frac{6}{15}$ $x=\frac{2}{5}$	⑰ $6x=14$ $x=\frac{14}{6}$ $x=\frac{7}{3}$	⑱ $25x=-5$ $x=-\frac{5}{25}$ $x=-\frac{1}{5}$

## 漢字

貝塚 貝塚 貝塚 貝塚 貝塚 貝塚 貝塚 貝塚 貝塚 稲穂 稲穂 稲穂 稲穂 稲穂 稲穂 稲穂  
 戸籍 戸籍 戸籍 戸籍 戸籍 戸籍 戸籍 戸籍 戸籍 剣道 剣道 剣道 剣道 剣道 剣道 剣道  
 記憶 記憶 記憶 記憶 記憶 記憶 記憶 記憶 記憶 零下 零下 零下 零下 零下 零下 零下  
 寛大 寛大 寛大 寛大 寛大 寛大 寛大 寛大 寛大 称赞 称赞 称赞 称赞 称赞 称赞 称赞  
 沼地 沼地 沼地 沼地 沼地 沼地 沼地 沼地 沼地 玄関 玄関 玄関 玄関 玄関 玄関 玄関

## あ と が き

### 【保護者の皆様へ】

町内の中学生を対象に実施したアンケートの結果、生徒たちから「授業の受け方がよく分からない」「テストで点数を上げるのにはどうしたらよいか分からない」「集中できない」「学習の仕方が分からない」などといった悩みが寄せられました。

そこで、小学校用の「家庭学習の手引き」に引き続き、中学生への学校及び家庭での学習の支援として「中学生用学習の手引き」を町内中学校の先生方のご協力を得て作成しました。

内容についての指導は、各中学校の先生方がされますが、保護者の皆様にも是非読んでいただき、学校と家庭が協力してお子様の学力の向上に役立てていただければと考えています。内容を改善してさらによいものになりたいと思いますので、研究所だより「ふれあい」の返信等でご意見やご感想をお聞かせください。

なお、小学校では「6年生」を対象に、中学校入学に向けての心構えなどに生かしてもらうために入学前に配布し、中学校の授業の中で指導していただくことにしました。今後ともよろしくお願いいたします。

### 【先生方へ】

中学生への学校及び家庭での学習の支援として「中学生用学習の手引き」を町内中学校の先生方のご協力を得て作成しました。

データと共にお届けしますので、各学校の生徒の実態や指導法に合わせて修正して指導していただいても構いません。中学生への指導の時間を設定し、学級での指導や各教科の授業等でも活用していただければ幸いです。

なお、小学校では「6年生」を対象に、中学校入学に向けての心構えなどに生かしてもらうために入学前に配布しますので、よろしくお願いいたします。

平成18年2月

門川町教育研究所（門川町立五十鈴小学校内教育相談室）

〒883-0611

宮崎県 東臼杵郡 門川町 大字 門川尾末 6270

(TEL・FAX 63-1566)